



眺望視点場からの風水集落の 景観構成と印象評価



都市計画研究室

風水景観

矢次 延行

(担当教員)佐藤 誠治

1章 序論

1-1 背景

1-2 風水とは

1-3 既往研究における本研究の位置づけと目的

1-4 風水景観とは

1-5 参考文献

2章 研究の方法と集落調査

2-1 韓国について

2-2 対象地域の選定

2-3 研究の方法

2-4 主要用語

3章 調査集落の風水作法の適合性

3-1 はじめに

3-2 看龍法の適合性

3-3 蔵風法の適合性

3-3-1 はじめに

3-3-2 四神砂の決定方法

3-3-3 四神砂の確認

3-3-4 まとめ

3-4 得水法の適合性

3-4-1 はじめに

3-4-2 川の有無

3-4-3 まとめ

3-5 小括

4章 構成割合による風水景観の分析

4-1 はじめに

4-2 構成要素の割合

4-3 類型化

4-4 風水集落主山小型の特徴

4-5 風水集落主山中型の特徴

4-6 風水集落主山大型の特徴

5章 印象評価実験

5-1 目的

5-2 実験手順

5-3 結果

5-4 風水集落主山小型の印象

5-5 風水集落主山中型の印象

5-6 風水集落主山大型の印象

6章 総括



1章 序論

- 1-1 背景
- 1-2 風水とは
- 1-3 既往研究における本研究の位置づけと目的
- 1-4 風水景観とは
- 1-5 参考文献

2章 研究の方法と集落調査

- 2-1 韓国について
- 2-2 対象地域の選定
- 2-3 研究の方法
- 2-4 主要用語

3章 調査集落の風水作法の適合性

- 3-1 はじめに
- 3-2 看龍法の適合性
- 3-3 蔵風法の適合性
 - 3-3-1 はじめに
 - 3-3-2 四神砂の決定方法
 - 3-3-3 四神砂の確認
 - 3-3-4 まとめ
- 3-4 得水法の適合性
 - 3-4-1 はじめに
 - 3-4-2 川の有無
 - 3-4-3 まとめ
- 3-5 小括

4章 構成割合による風水景観の分析

- 4-1 はじめに
- 4-2 構成要素の割合
- 4-3 類型化
- 4-4 風水集落主山小型の特徴
- 4-5 風水集落主山中型の特徴
- 4-6 風水集落主山大型の特徴

5章 印象評価実験

- 5-1 目的
- 5-2 実験手順
- 5-3 結果
- 5-4 風水集落主山小型の印象
- 5-5 風水集落主山中型の印象
- 5-6 風水集落主山大型の印象

6章 総括

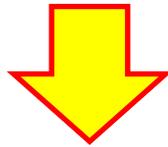


1 章

背景

風水とは生活空間の選定に用いられた地形と人間の営みを結びつける環境重視の作法

風水景観は様々な感情を湧きあがらせる一つの意味ある空間を形成する



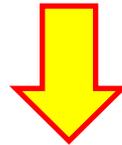
風水景観を研究することは
周囲の環境を作り変えようとしがちな現代の景観を考え直す一環
となるものであり、意義あることである

1 章

既往研究から

韓国では風水的な地形を作り上げるという点で非常に恵まれた環境であることと

風水の認知された集落では、集落を眺望できる場が整備されていることが多いということが分かっている



目的

風水集落を俯瞰できる眺望場からの景観を分析することで風水集落の景観的な特徴を明らかにする

1章 序論

1-1 背景

1-2 風水とは

1-3 既往研究における本研究の位置づけと目的

1-4 風水景観とは

1-5 参考文献

2章 研究の方法と集落調査

2-1 韓国について

2-2 対象地域の選定

2-3 研究の方法

2-4 主要用語

3章 調査集落の風水作法の適合性

3-1 はじめに

3-2 看龍法の適合性

3-3 蔵風法の適合性

3-3-1 はじめに

3-3-2 四神砂の決定方法

3-3-3 四神砂の確認

3-3-4 まとめ

3-4 得水法の適合性

3-4-1 はじめに

3-4-2 川の有無

3-4-3 まとめ

3-5 小括

4章 構成割合による風水景観の分析

4-1 はじめに

4-2 構成要素の割合

4-3 類型化

4-4 風水集落主山小型の特徴

4-5 風水集落主山中型の特徴

4-6 風水集落主山大型の特徴

5章 印象評価実験

5-1 目的

5-2 実験手順

5-3 結果

5-4 風水集落主山小型の印象

5-5 風水集落主山中型の印象

5-6 風水集落主山大型の印象

6章 総括



研究方法

風水景観を有する集落の選定



風水景観の構成要素の割合を把握するため景観写真の撮影
(2013年8月5日から8月8日)



景観写真の印象を把握するために男女52人を対象にヒアリング
調査

これらによって得られた結果と、Google EarthやDaumといったインターネット上の地図サイトによって得られた情報をもとに研究を進める。

調査集落



No	集落名	No	集落名
1	道田里 (ドゾンリ)	5	板雲里 (パンウンリ)
2	嶋潭里 (ドダンリ)	6	水項里 (シュハンリ)
3	徳泉里 (ドッチョンリ)	7	鳳陽里 (ボンヤンリ)
4	酒泉里 (ジュッチョンリ)	8	徳川里 (ドッチョンリ)

1章 序論

1-1 背景

1-2 風水とは

1-3 既往研究における本研究の位置づけと目的

1-4 風水景観とは

1-5 参考文献

2章 研究の方法と集落調査

2-1 韓国について

2-2 対象地域の選定

2-3 研究の方法

2-4 主要用語

3章 調査集落の風水作法の適合性

3-1 はじめに

3-2 看龍法の適合性

3-3 蔵風法の適合性

3-3-1 はじめに

3-3-2 四神砂の決定方法

3-3-3 四神砂の確認

3-3-4 まとめ

3-4 得水法の適合性

3-4-1 はじめに

3-4-2 川の有無

3-4-3 まとめ

3-5 小括

4章 構成割合による風水景観の分析

4-1 はじめに

4-2 構成要素の割合

4-3 類型化

4-4 風水集落主山小型の特徴

4-5 風水集落主山中型の特徴

4-6 風水集落主山大型の特徴

5章 印象評価実験

5-1 目的

5-2 実験手順

5-3 結果

5-4 風水集落主山小型の印象

5-5 風水集落主山中型の印象

5-6 風水集落主山大型の印象

6章 総括



はじめに

調査集落の風水との結びつきを検証するため
風水の三つの原理との適合性を確認する

名称	原理
看龍法	風水に内包されているすべての原理が可視的実体として表出された事象が山，すなわち風水用語でいう「龍」であり，祖山から穴場までの龍脈の流れの良否を察すること看龍法という。
蔵風法	明堂の位置する穴を探すことが目的である風水において，明堂周囲の地形，地勢をいかに認識しているかということは風水を理解するうえで重要なカギとなる。この明堂周囲の地勢に関する風水理論を通称して蔵風法といい，これによって穴が決められる。
得水法	風水での水の役割やその重要性について，最も妥当なものは陰陽的解釈である。陰と陽は単独では物を生み出せず，陰と陽が配偶することではじめて進化のはたらきが成立する。ゆえに形成の観点から論じると，山は陰であり水は陽なので，山と水の両者が配偶することによってはじめて，陰陽両者がそろふことになる。そのため得水は陰陽和合に必要な不可欠な存在としてその重要性が認識される。

はじめに

調査集落の風水との結びつきを検証するため
風水の三つの原理との適合性を確認する

名称	原理
----	----

**看龍法；集落が気の発生源である祖山からの直経連山の流れ
の中にあるかを見る**

蔵風法	に認識しているかということは風水を理解するうえで重要なカギとなる。この明堂周囲の地勢に関する風水理論を通称して蔵風法といい、これによって穴が決められる。
得水法	風水での水の役割やその重要性について、最も妥当なものは陰陽的解釈である。陰と陽は単独では物を生み出せず、陰と陽が配偶することではじめて進化のはたらきが成立する。ゆえに形成の観点から論じると、山は陰であり水は陽なので、山と水の両者が配偶することによってはじめて、陰陽両者がそろうことになる。そのため得水は陰陽和合に必要な不可欠な存在としてその重要性が認識される。

はじめに

調査集落の風水との結びつきの検証するため
風水の三つの原理との適合性を確認する

名称	原理
看龍法	風水に内包されているすべての原理が可視的実体として表出された事象が山，すなわち風水用語でいう「龍」であり，祖山から穴場までの龍脈の流れの良否を察すること看龍法という。
得水法	風水での水の役割やその重要性について，最も妥当なものは陰陽的解釈である。陰と陽は単独では物を生み出せず，陰と陽が配偶することではじめて進化のはたらきが成立する。ゆえに形成の観点から論じると，山は陰であり水は陽なので，山と水の両者が配偶することによってはじめて，陰陽両者がそろうことになる。そのため得水は陰陽和合に必要不可欠な存在としてその重要性が認識される。

蔵風法；四神砂が存在し気を貯めることができる山の存在の必要性

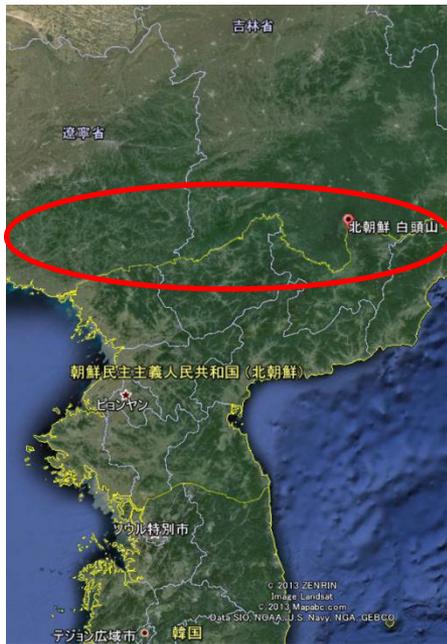
はじめに

調査集落の風水との結びつきの検証するため
風水の三つの原理との適合性を確認する

名称	原理
看龍法	風水に内包されているすべての原理が可視的実体として表出された事象が山，すなわち風水用語でいう「龍」であり，祖山から穴場までの龍脈の流れの良否を察すること看龍法という。
蔵風法	明堂の位置する穴を探すことが目的である風水において，明堂周囲の地形，地勢をいかに認識しているかということは風水を理解するうえで重要なカギとなる。この明堂周囲の地勢に関する風水理論を通称して蔵風法といい，これによって穴が決められる。
	風水での水の役割やその重要性について 最も妥当なものは陰陽的解釈である。陰と陽
	得水法；気を留めるための川が存在する
	することによってはじめて，陰陽両者がそろうことになる。そのため得水は陰陽和合に必要な不可欠な存在としてその重要性が認識される。

看龍法

看龍法の概念に適合しているかを朝鮮半島の山の連なりを朝鮮半島の全体図で確認し、白頭山の直系連山の中に調査対象地があることで確認する



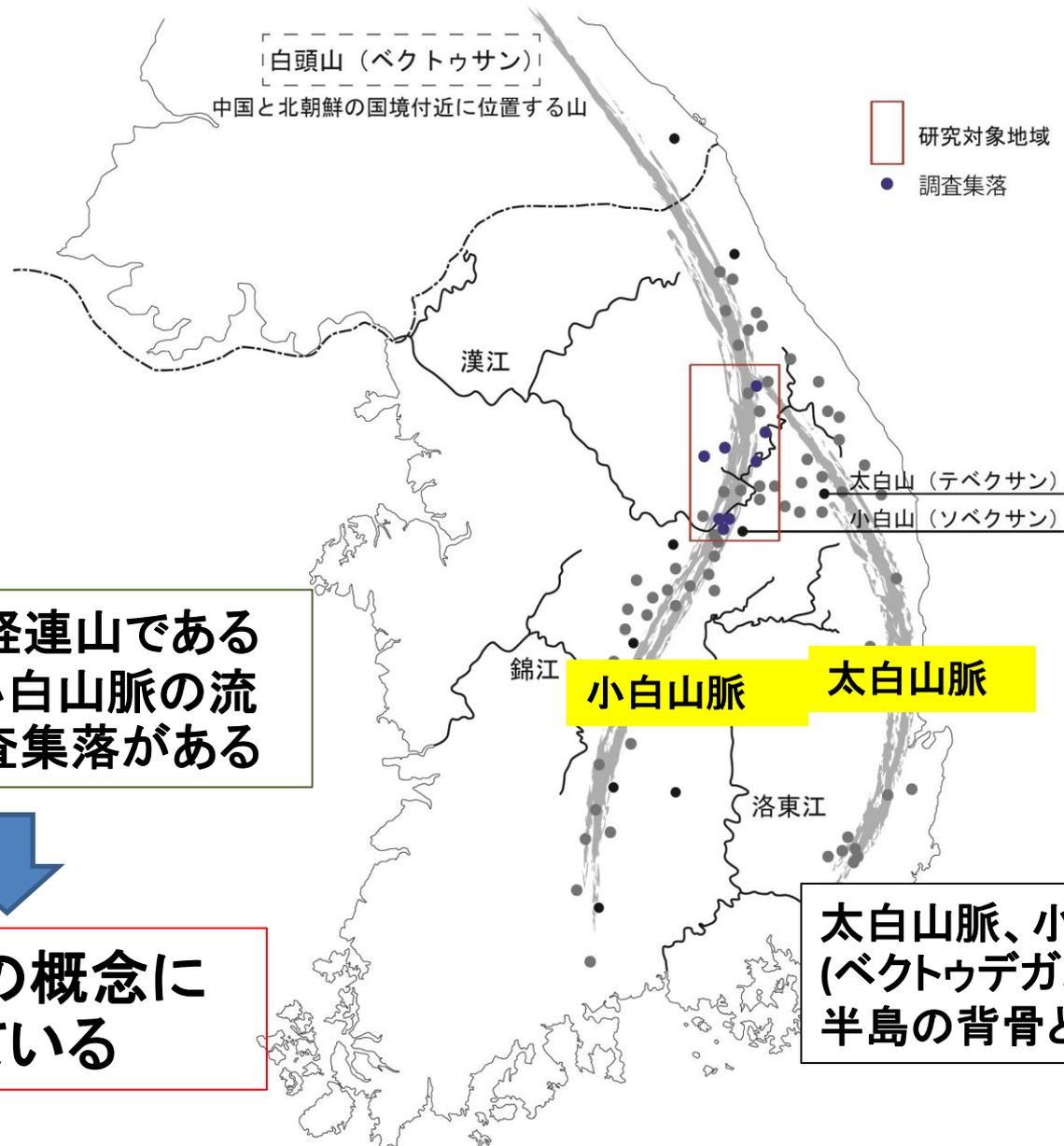
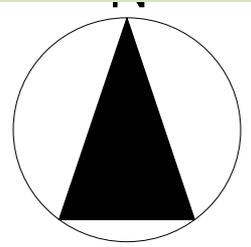
白頭山

中国吉林省と北朝鮮両江道の国境地帯にある山であり、韓国の風水ではこの山を祖山として扱うことが多い。

GoogleEarth

http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/6/6d/Baitou_Mountain_Tianchi.jpg

3章



白頭山 (ベクトウサン)

中国と北朝鮮の国境付近に位置する山

研究対象地域
調査集落

漢江

太白山 (テベクサン)

小白山 (ソベクサン)

錦江

小白山脈 太白山脈

洛東江

白頭山の直経連山である太白山脈、小白山脈の流れの中に調査集落がある



看龍法の概念に適合している

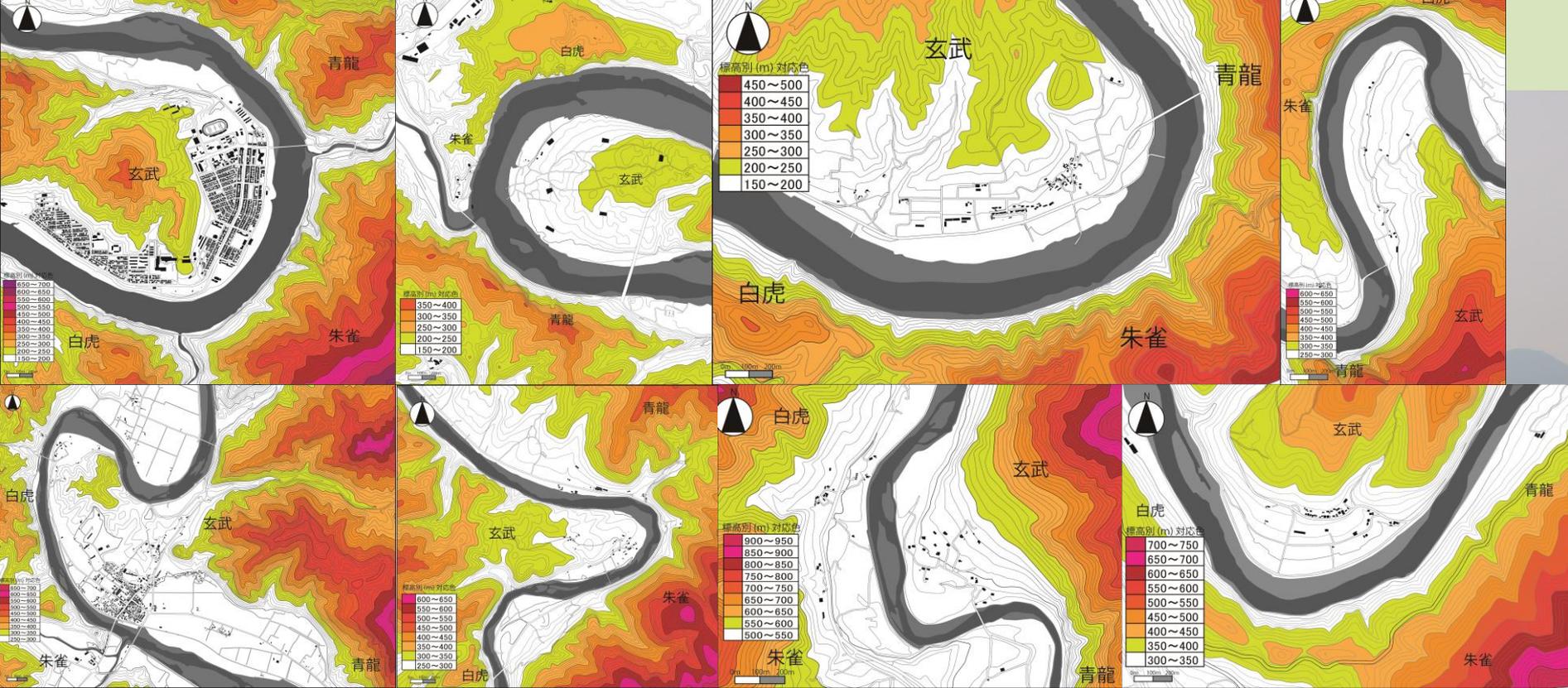
太白山脈、小白山脈は「白頭根幹 (ベクトウデガン)」をなしており朝鮮半島の背骨と言われている

蔵風法

四神砂となる山の存在を調査集落を線画化した地図によって確認して決定し、その起伏を調べることにより、蔵風の役割が果たせている山であるということも確認する

四神砂

「玄武(北)」、「青龍(東)」、「白虎(西)」、「朱雀(南)」を表す山々があることが吉地であるとされている。



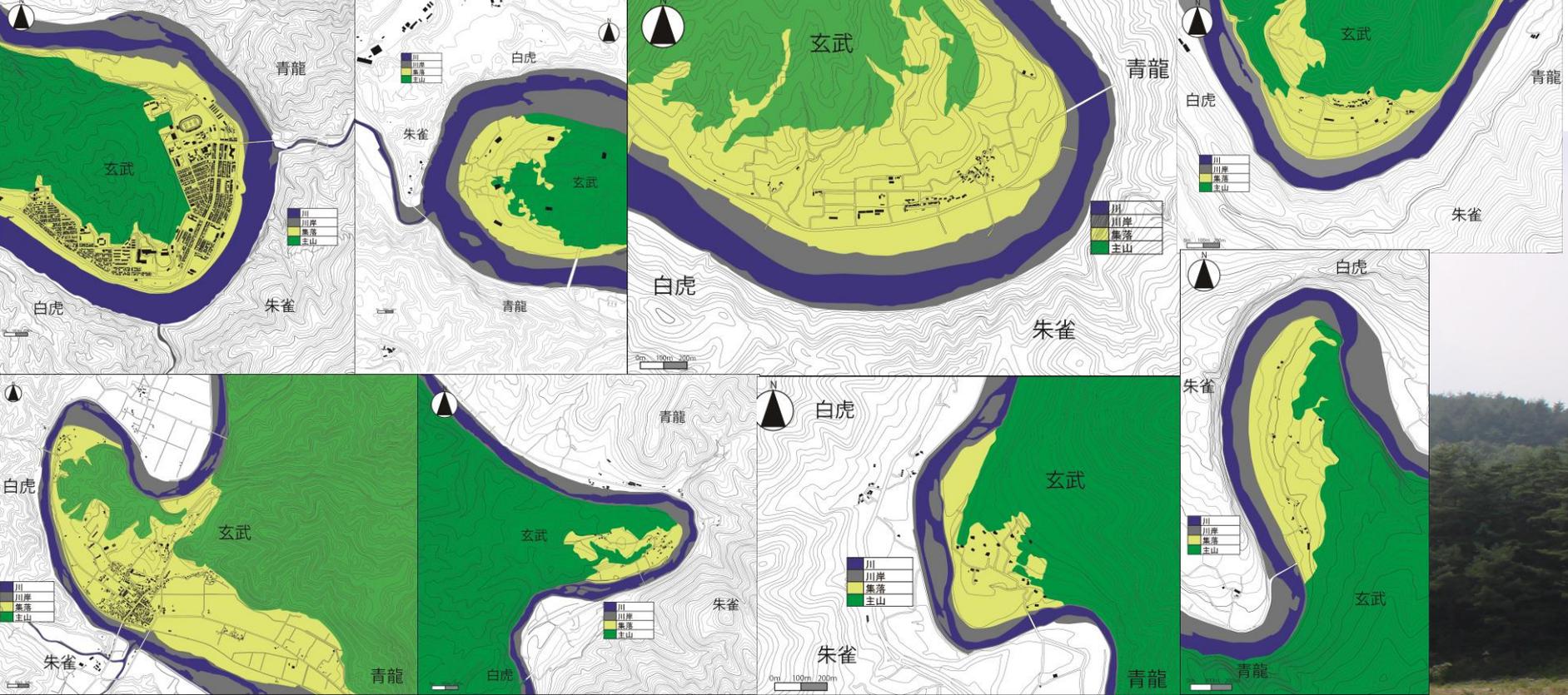
しっかりと起伏のある四神砂を全ての集落で確認することができる



蔵風法の概念に適合している

得水法

集落の前方に気を留めるための
川の存在を確認する



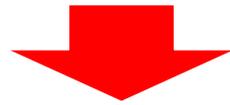
全ての集落の前方に川を確認することができる



得水法の概念に適合している

まとめ

風水の原理である看龍法、蔵風法、得水法それぞれの概念の適合性を証明することができた



調査集落は
風水と結びつきの強い風水集落である

1章 序論

1-1 背景

1-2 風水とは

1-3 既往研究における本研究の位置づけと目的

1-4 風水景観とは

1-5 参考文献

2章 研究の方法と集落調査

2-1 韓国について

2-2 対象地域の選定

2-3 研究の方法

2-4 主要用語

3章 調査集落の風水作法の適合性

3-1 はじめに

3-2 看龍法の適合性

3-3 蔵風法の適合性

3-3-1 はじめに

3-3-2 四神砂の決定方法

3-3-3 四神砂の確認

3-3-4 まとめ

3-4 得水法の適合性

3-4-1 はじめに

3-4-2 川の有無

3-4-3 まとめ

3-5 小括

4章 構成割合による風水景観の分析

4-1 はじめに

4-2 構成要素の割合

4-3 類型化

4-4 風水集落主山小型の特徴

4-5 風水集落主山中型の特徴

4-6 風水集落主山大型の特徴

5章 印象評価実験

5-1 目的

5-2 実験手順

5-3 結果

5-4 風水集落主山小型の印象

5-5 風水集落主山中型の印象

5-6 風水集落主山大型の印象

6章 総括



はじめに

第4章では風水景観の構成要素の割合から特徴の把握を行う

構成要素

近景の要素は

樹林・草地, 耕作地, 建物, 道路・橋, その他の7要素

中景の要素は

川(水), 川(砂), 樹林・草地, 耕作地, 建物, 道路・橋の7要素

遠景の要素は

山, 空, 耕作地, 建物, 樹林・草地の5要素

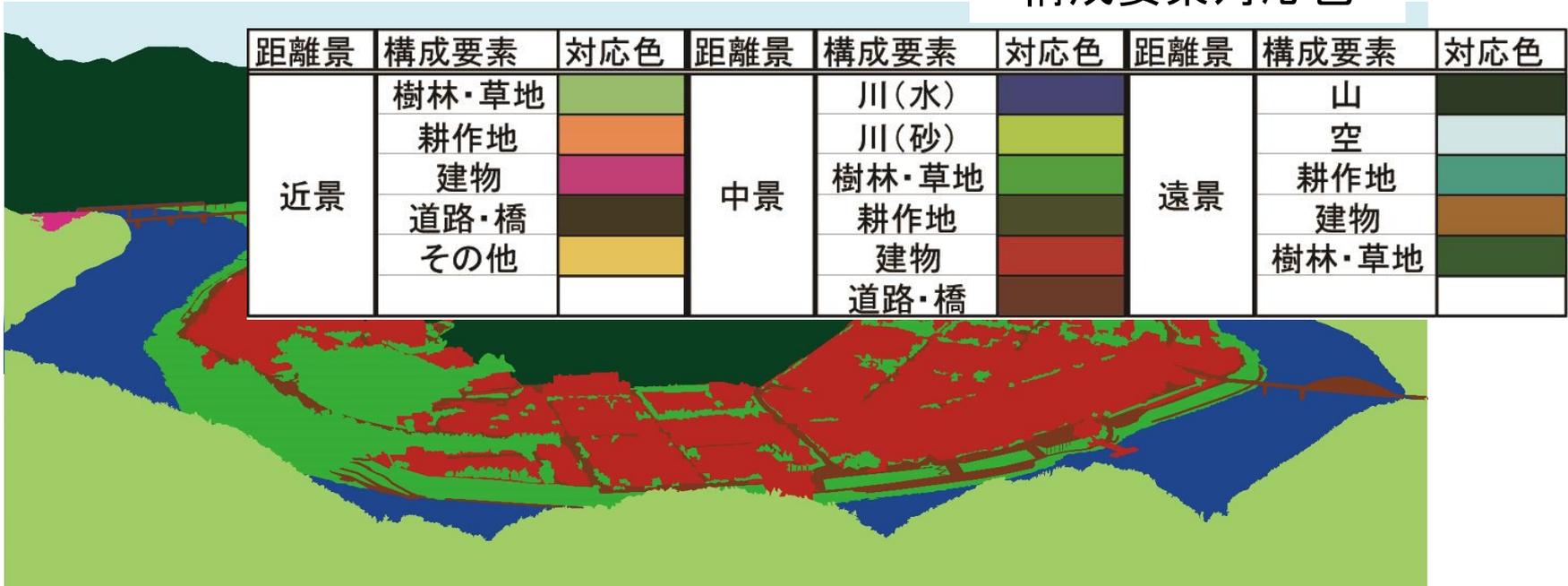
距離景

視対象である風水集落とその周辺を中景として，相対的に集落を取り囲む河川より近い位置を近景，集落とその河川より遠い位置を遠景とする



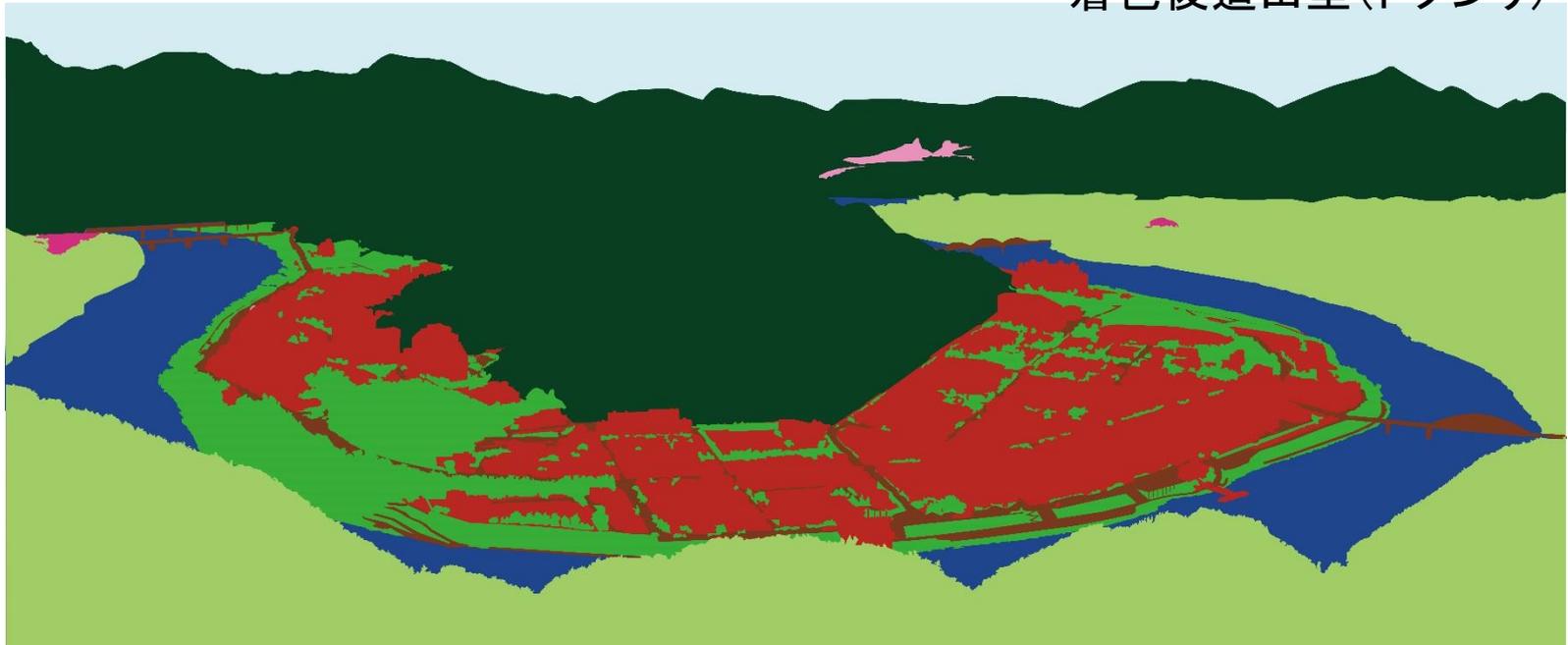


構成要素対応色





着色後道田里(ドゾンリ)



結果

距離景別 構成割合

集落番号	近景	中景	遠景
No.1	27.91	29.83	42.40
No.2	20.38	35.06	44.56
No.3	27.56	39.16	33.28
No.4	38.72	19.50	41.78
No.5	40.20	25.75	34.05
No.6	26.01	15.74	58.40
No.7	23.50	19.77	55.38
No.8	24.66	46.49	28.86

距離景別構成要素の割合

集落番号	近景	1	2
No.1	27.91	樹林・草地 27.82(99.67)	建物・工作物 0.091(0.33)
No.2	20.38	樹林・草地 20.18(99.00)	道路・橋 0.20(0.98)
No.3	27.56	樹林・草地 27.53(99.89)	道路・橋 0.031(0.11)
No.4	38.72	樹林・草地 38.33(99)	建物・工作物 0.39(1)
No.5	40.2	樹林・草地 39.12(97.31)	耕作地 0.44(1.09)
No.6	26.01	樹林・草地 22.56(86.74)	耕作地 3.45(13.26)
No.7	23.5	樹林・草地 17.10(75.98)	その他 5.68(19.64)
No.8	24.66	樹林・草地 24.50(99.38)	道路・橋 0.15(0.62)

	中景	1	2
No.1	29.83	建物 11.87(39.78)	川 7.93(26.59)
No.2	35.06	川 25.32(72.22)	樹林・草地 6.08(17.34)
No.3	39.16	樹林・草地 21.90(55.92)	川 11.85(30.27)
No.4	19.5	樹林・草地 7.72(39.59)	建物 5.17(26.51)
No.5	25.75	川 14.91(57.9)	樹林・草地 8.11(31.5)
No.6	15.74	樹林・草地 7.51(47.68)	川 6.03(38.33)
No.7	19.77	樹林・草地 16.57(83.81)	川 9.63(48.69)
No.8	46.49	川 33.62(72.32)	樹林・草地 7.45(16.02)

	遠景	1	2
No.1	42.40	山 29.63(69.88)	空 12.63(29.79)
No.2	44.56	空 41.58(93.30)	山 2.95(6.62)
No.3	33.28	空 24.78(74.45)	山 8.50(25.55)
No.4	41.78	空 30.92(74.01)	山 10.86(25.99)
No.5	34.05	空 19.22(56.45)	山 14.83(43.55)
No.6	58.4	山 32.21(55.15)	空 25.94(44.41)
No.7	55.38	山 30.6(55.256)	空 24.78(44.74)
No.8	28.86	山 15.82(54.83)	空 13.04(45.17)

()内の値は各景における構成要素の割合

結果

距離景別 構成割合

集落番号	近景	中景	遠景
No.1	27.91	29.83	42.40
No.2	20.38	35.06	44.56
No.3	27.56	39.16	33.28
No.4	38.72	19.50	41.78
No.5	40.20	25.75	34.05
No.6	26.01	15.74	58.40
No.7	23.50	19.77	55.38
No.8	24.66	46.49	28.86

全ての集落において近景＋遠景が60%以上

結果

距離景別構成要素の割合

集落番号	近景	1	2
No.1	27.91	樹林・草地 27.82(99.67)	建物・工作物 0.091(0.33)
No.2	20.38	樹林・草地 20.18(99.00)	道路・橋 0.20(0.99)
No.3	27.56	樹林・草地 27.53(99.89)	道路・橋 0.03(0.11)
No.4	38.72	樹林・草地 38.33(99)	建物・工作物 0.39(1.01)
No.5	40.2	樹林・草地 39.12(97.31)	耕作地 0.44(1.09)
No.6	26.01	樹林・草地 22.56(86.74)	耕作地 3.45(13.26)
No.7	23.5	樹林・草地 17.10(75.98)	その他 5.68(19.64)
No.8	24.66	樹林・草地 24.50(99.38)	道路・橋 0.15(0.62)

樹林草地

近景の主要構成要素は
樹林草地(山を表す)
遠景の主要構成要素は
山と空

	中景	1	2
No.1	29.83	建物 11.87(39.78)	川 7.93(26.59)
No.2	35.06	川 25.32(72.22)	樹林・草地 6.08(17.34)
No.3	39.16	樹林・草地 21.90(55.92)	川 11.85(30.27)
No.4	19.5	樹林・草地 7.72(39.59)	建物 5.17(26.51)
No.5	25.75	川 14.91(57.9)	樹林・草地 8.11(31.5)
No.6	15.74	樹林・草地 7.51(47.68)	川 6.03(38.33)
No.7	19.77	樹林・草地 16.57(50.34)	川 9.63(29.26)
No.8	46.49	川 33.62(72.32)	樹林・草地 7.45(16.02)

	遠景	1	2
No.1	42.40	山 29.63(69.88)	空 12.63(29.79)
No.2	44.56	空 41.58(93.30)	山 2.95(6.62)
No.3	33.28	空 24.78(74.45)	山 8.50(25.55)
No.4	41.78	空 30.92(74.01)	山 10.86(26.01)
No.5	34.05	空 19.22(56.45)	山 14.83(43.24)
No.6	58.4	山 32.21(55.15)	空 25.99(44.48)
No.7	55.38	山 30.6(55.256)	空 24.78(44.74)
No.8	28.86	山 15.82(54.83)	空 13.04(45.17)

山と空

風水景観は
困繞感のある景観

()内の値は各景における構成要素の割合

4章

類型化

距離景別構成要素の割合

集落番号	近景	1	2
No.1	27.91	樹林・草地 27.82(99.67)	建物・工作物 0.091(0.33)
No.2	20.38	樹林・草地 20.18(99.00)	道路・橋 0.20(0.98)
No.3	27.56	樹林・草地 27.53(99.89)	道路・橋 0.031(0.11)
No.4	38.72	樹林・草地 38.33(99)	建物・工作物 0.39(1)
No.5	40.2	樹林・草地 39.12(97.31)	耕作地 0.44(1.09)
No.6	26.01	樹林・草地 22.56(86.74)	耕作地 3.45(13.26)
No.7	23.5	樹林・草地 17.10(75.98)	その他 5.68(19.64)
No.8	24.66	樹林・草地 24.50(99.38)	道路・橋 0.15(0.62)

	中景	1	2
No.1	29.83	建物 11.87(39.78)	川 7.93(26.59)
No.2	35.06	川 25.32(72.22)	樹林・草地 6.08(17.34)
No.3	39.16	樹林・草地 21.90(55.92)	川 11.85(30.27)
No.4	19.5	樹林・草地 7.72(39.59)	建物 5.17(26.51)
No.5	25.75	川 14.91(57.9)	樹林・草地 8.11(31.5)
No.6	15.74	樹林・草地 7.51(47.68)	川 6.03(38.33)
No.7	19.77	樹林・草地 16.57(50.34)	川 9.63(29.26)
No.8	46.49	川 33.62(72.32)	樹林・草地 7.45(16.02)

	遠景	1	2
No.1	42.40	山 29.63(69.88)	空 12.63(29.79)
No.2	44.56	空 41.58(93.30)	山 2.95(6.62)
No.3	33.28	空 24.78(74.45)	山 8.50(25.55)
No.4	41.78	空 30.92(74.01)	山 10.86(25.99)
No.5	34.05	空 19.22(56.45)	山 14.83(43.55)
No.6	58.4	山 32.21(55.15)	空 25.94(44.41)
No.7	55.38	山 30.6(55.256)	空 24.78(44.74)
No.8	28.86	山 15.82(54.83)	空 13.04(45.17)

遠景の山に注目する

遠景の山 = 主山

主山

集落背後にそびえる山

()内の値は各景における構成要素の割合

距離景別構成要素の割合

類型化

	遠景	1	2
No.1	42.40	山 29.63(69.88)	空 12.63(29.79)
No.2	44.56	空 41.58(93.30)	山 2.95(6.62)
No.3	33.28	空 24.78(74.45)	山 8.50(25.55)
No.4	41.78	空 30.92(74.01)	山 10.86(25.99)
No.5	34.05	空 19.22(56.45)	山 14.83(43.55)
No.6	58.4	山 32.21(55.15)	空 25.94(44.41)
No.7	55.38	山 30.6(55.256)	空 24.78(44.74)
No.8	28.86	山 15.82(54.83)	空 13.04(45.17)

()内の値は各景における構成要素の割合

主山の割合

風水集落主山小型

集落2, 3, 4 2.95~10.86% →主山の割合小

風水集落主山中型

集落5, 8 14.83~15.82% →主山の割合中

風水集落主山大型

集落1, 6, 7 29.63~32.21% →主山の割合大

類型別特徴

4章

風水集落主山小型 集落2, 3, 4

集落背後の奥行



4章

風水集落主山小型 集落2, 3, 4



集落2 嶋潭里(ドダンリ)



集落3 徳泉里(ドッチョンリ)



集落4 酒泉里(ジュッチョンリ)

集落の形が
はっきりとして
いている

風水集落主山中型 集落5, 8



集落5 板雲里(パンウンリ)

	中景	1	2
No.1	29.83	建物 11.87(39.78)	川 7.93(26.59)
No.2	35.06	川 25.32(72.22)	樹林・草地 6.08(17.34)
No.3	39.16	樹林・草地 21.90(55.92)	川 11.85(30.27)
No.4	19.5	樹林・草地 7.72(39.59)	建物 5.17(26.51)
No.5	25.75	川 14.91(57.9)	樹林・草地 8.11(31.5)
No.6	15.74	樹林・草地 7.51(47.68)	川 6.03(38.33)
No.7	19.77	樹林・草地 16.57(50.34)	川 9.63(29.26)
No.8	46.49	川 33.62(72.32)	樹林・草地 7.45(16.02)

	遠景	1	2
No.1	42.40	山 29.63(69.88)	空 12.63(29.79)
No.2	44.56	空 41.58(93.30)	山 2.95(6.62)
No.3	33.28	空 24.78(74.45)	山 8.50(25.55)
No.4	41.78	空 30.92(74.01)	山 10.86(25.99)
No.5	34.05	空 19.22(56.45)	山 14.83(43.55)
No.6	58.4	山 32.21(55.15)	空 25.94(44.41)
No.7	55.38	山 30.6(55.256)	空 24.78(44.74)
No.8	28.86	山 15.82(54.83)	空 13.04(45.17)

()内の値は各景における構成要素の割合



集落8 徳川里(ドッチョンリ)

主山, 14.83~15.82%

中景の集落, 10.84~12.83%

川14.83~15.82%

主山, 集落, 川の割合が近く, バランスのとれた景観

4章

風水集落主山大型 集落1, 6, 7

集落と主山の境界が明確
となり
主山がシンボリックな景観



集落1 道田里(ドゾンリ)



集落6 水項里(シュハンリ)



集落7 鳳陽里(ボンヤンリ)

1章 序論

1-1 背景

1-2 風水とは

1-3 既往研究における本研究の位置づけと目的

1-4 風水景観とは

1-5 参考文献

2章 研究の方法と集落調査

2-1 韓国について

2-2 対象地域の選定

2-3 研究の方法

2-4 主要用語

3章 調査集落の風水作法の適合性

3-1 はじめに

3-2 看龍法の適合性

3-3 蔵風法の適合性

3-3-1 はじめに

3-3-2 四神砂の決定方法

3-3-3 四神砂の確認

3-3-4 まとめ

3-4 得水法の適合性

3-4-1 はじめに

3-4-2 川の有無

3-4-3 まとめ

3-5 小括

4章 構成割合による風水景観の分析

4-1 はじめに

4-2 構成要素の割合

4-3 類型化

4-4 風水集落主山小型の特徴

4-5 風水集落主山中型の特徴

4-6 風水集落主山大型の特徴

5章 印象評価実験

5-1 目的

5-2 実験手順

5-3 結果

5-4 風水集落主山小型の印象

5-5 風水集落主山中型の印象

5-6 風水集落主山大型の印象

6章 総括



印象評価実験

- 風水景観の認識の良し悪し
- 類型別の印象
- 類型の特徴の印象への影響

実験方法

①写真を1枚ずつ手渡し

「景観写真を好きな景観か嫌いな景観か教えてください。比較するのではなくそれぞれの景観を好きか嫌いかで考えてください」

と質問し好きな景観と嫌いな景観ごとに分ける。

②好きな景観と回答した写真を再度一枚ずつ被験者に手渡し

「写真を見たときに存在感を感じたり、目にとまった場所はないですか」

と質問する。

③「他に好きと判断する際に決め手となった原因はありますか」と質問する。

④同様に嫌いと答えた写真も再度一枚ずつ写真を手渡して質問する。

結果

類型	集落番号	好き	%	嫌い	%	回答数
風水集落主山小	No.2	35	67%	17	33%	52
	No.3	35	67%	17	33%	52
	No.4	17	33%	35	67%	52
風水集落主山中	No.5	25	48%	27	52%	52
	No.8	32	62%	20	38%	52
風水集落主山大	No.1	37	71%	15	29%	52
	No.6	43	83%	9	17%	52
	No.7	26	50%	26	50%	52

結果

類型	集落番号	好き	%	嫌い	%	回答数
風水集落主山小	No.2	35	67%	17	33%	52
	No.3	35	67%	17	33%	52
	No.4	17	33%	35	67%	52
風水集落主山中	No.5	25	48%	27	52%	52
	No.8	32	62%	20	38%	52
風水集落主山大	No.1	37	71%	15	29%	52
	No.6	43	83%	9	17%	52
	No.7	26	50%	26	50%	52

平均は60%

風水景観は良い景観と判断される傾向にある

類型別結果

風水集落主山小型

類型	集落番号	好き	%	嫌い	%	回答数
風水集落主山小	No.2	35	67%	17	33%	52
	No.3	35	67%	17	33%	52
	No.4	17	33%	35	67%	52
風水集落主山中	No.5	25	48%	27	52%	52
	No.8	32	62%	20	38%	52
風水集落主山大	No.1	37	71%	15	29%	52
	No.6	43	83%	9	17%	52
	No.7	26	50%	26	50%	52

集落2, 3 高い評価

<ヒアリング結果> **類型の特徴が良い印象を与えている**

島に存在感を感じるといった島というキーワードや集落が浮かんでいる感じが気になるなどの主に集落に注目している回答に加え、空が良く見えるから良いといった奥行に関する回答も得られ類型の特徴が良い印象を与えている

風水集落小型

類型	集落番号	好き	%	嫌い	%	回答数
風水集落主山小	No.2	35	67%	17	33%	52
	No.3	35	67%	17	33%	52
	No.4	17	33%	35	67%	52



集落4 低い評価

<ヒアリング結果> 視点場の状況が印象に影響

市街地の近景中央部の工作物、樹木の存在感や建物の煩雑さが、嫌いな理由として挙げられた。

風水集落主山中型

類型	集落番号	好き	%	嫌い	%	回答数
風水集落主山小	No.2	35	67%	17	33%	52
	No.3	35	67%	17	33%	52
	No.4	17	33%	35	67%	52
風水集落主山中	No.5	25	48%	27	52%	52
	No.8	32	62%	20	38%	52
風水集落主山大	No.1	37	71%	15	29%	52
	No.6	43	83%	9	17%	52
	No.7	26	50%	26	50%	52

集落5 中間の評価

<ヒアリング結果> **類型の特徴が良い印象にも悪い印象にも与えている**

好きという回答には主山や集落、川それぞれ印象に残っている回答が得られ、直接的に全体のバランスが良いという、風水集落主山中型の特徴が良い印象を与えていることが分かる。

嫌いと回答した中には、さみしい、何もなく目立つものがない、田舎感がするなど全体に目がいきとどいたゆえにシンボリックなものがなく好きになれないという結果が得られた。

風水集落主山中型

類型	集落番号	好き	%	嫌い	%	回答数
風水集落主山小	No.2	35	67%	17	33%	52
	No.3	35	67%	17	33%	52
	No.4	17	33%	35	67%	52
風水集落主山中	No.5	25	48%	27	52%	52
	No.8	32	62%	20	38%	52
風水集落主山大	No.1	37	71%	15	29%	52
	No.6	43	83%	9	17%	52
	No.7	26	50%	26	50%	52

集落8 高い評価

<ヒアリング結果> **類型の特徴が良い印象を与えている**

川に関する回答が多かった。

川が大きく蛇行し写真の広範囲に映っており川に印象を持ったという回答が多く、類型化の特徴である景観全体に目がいきとどいていると言え、風水集落主山中型の特徴が現れている

風水集落主山大型

類型	集落番号	好き	%	嫌い	%	回答数
風水集落主山小	No.2	35	67%	17	33%	52
	No.3	35	67%	17	33%	52
	No.4	17	33%	35	67%	52
風水集落主山中	No.5	25	48%	27	52%	52
	No.8	32	62%	20	38%	52
風水集落主山大	No.1	37	71%	15	29%	52
	No.6	43	83%	9	17%	52
	No.7	26	50%	26	50%	52

集落1, 6 高い評価

<ヒアリング結果> 類型の特徴が良い印象を与えている

圧倒的に主山に関する回答が多く、風水集落主山大型の特徴が良い印象を与えている

風水集落主山大型

類型	集落番号	好き	%	嫌い	%	回答数
風水集落主山小	No.2	35	67%	17	33%	52
	No.3	35	67%	17	33%	52
	No.4	17	33%	35	67%	52
風水集落主山中	No.5	25	48%	27	52%	52
	No.8	32	62%	20	38%	52
風水集落主山大	No.1	37	71%	15	29%	52
	No.6	43	83%	9	17%	52
	No.7	26	50%	26	50%	52

集落7 中間の評価

<ヒアリング結果> **主山の見た目が影響**

主山に関する回答が多かったが、嫌いと判断した被験者26人の内65%の被験者が主山が削れていて山肌が見えることを挙げており、山の見た目が結果に影響している

風水集落主山大型



集落7 中間の評価

<ヒアリング結果> **主山の見た目が影響**

主山に関する回答が多かったが、嫌いと判断した被験者26人の内65%の被験者が主山が削れていて山肌が見えることを挙げており、山の見た目が結果に影響している

総括

- ・調査集落は風水との結びつきが強い
- ・風水景観を構成要素の割合から3つに類型化し特徴を把握することができた
- ・印象評価実験から風水景観は良い印象をもつ傾向にあることが分かった
- ・類型ごとの特徴が良い評価に影響する

類型	特徴
風水集落主山小型	集落背後に奥行が感じられ、集落が島のように見える印象を与える。
風水集落主山中型	景観全体のバランスが良い
風水集落主山大型	主山がシンボリック



ご清聴ありがとうございました